

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	奈良県障害者総合支援センター わかくさ愛育園		
○保護者評価実施期間	令和7年1月31日		～ 令和7年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	令和7年2月7日		～ 令和7年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	令和7年1月31日		～ 令和7年2月10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験豊富な訪問支援員が対応している。	集団生活、集団活動の中での支援を検討し、具体的に助言している。	訪問園で、支援教諭だけでなく担任や主任等多くの先生方と情報共有できるように訪問時間外に共有の場を設定する。
2	訪問支援後、毎回保護者への状況報告している。	訪問後に毎回報告書を作成し保護者にお渡ししている。さらに、口頭で説明することもあり、直接保護者とお話するなかで保護者が感じている問題等の相談をお受けしている。	分かりやすい報告書の作成に向けて、担当者間で検討する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問回数が月1回～2ヶ月に1回程度になる。	訪問支援員(2名)が兼務職員であり、保育所等訪問支援に専任できない。	訪問支援員の増加や専任化には職員の増員が必要であり、園としては職員募集をしているところです。